

大分県外国人総合相談センター おおいた国際交流プラザ

No.6
Autumn
2020

「災害時外国人支援セミナー」開催

大分県の防災計画では、外国人は「災害弱者」になりますがちであると言われています。外国人に関する防災の取組と災害時の対応について学ぶため7月31日（金）、8月1日（土）の2日間にわたり、『災害時外国人支援セミナー』をiichiko総合文化センター・県民ギャラリーにて開催しました。1日目は県、市町村、社会福祉協議会など地域で災害対応を行う機関・団体の担当者を、2日目は現地で外国人の支援にあたるボランティア、防災士、国際交流団体、留学生受入学校関係者等を対象としました。

2日間共に前半の共通講義として、セミナーの冒頭には県防災対策企画課から県の全体的な災害対応体制について、県国際政策課から多言語情報発信等の災害時における外国人支援について説明していただきました。続いて、立命館アジア太平洋大学(APU) 言語教育センター長の本田明子教授からAPU留学生にも参加してもらい、災害時における外国人の認識・反応とやさしい日本語の効果について、次に佐伯市あまべ商工会の谷口里美監理責任者から佐伯市米水津地区での技能実習生を取り込んだ防災の取組について説明していただきました。後半の日替わり講義では、1日目は(公

財)佐賀県国際交流協会の矢富明徳企画交流課長から佐賀県における災害時の多言語支援の実施と市町村との連携について、2日目は(一財)熊本市国際交流振興事業団の八木浩光事務局長から熊本地震における熊本市国際交流会館での外国人対応の経験について講演していただきました。

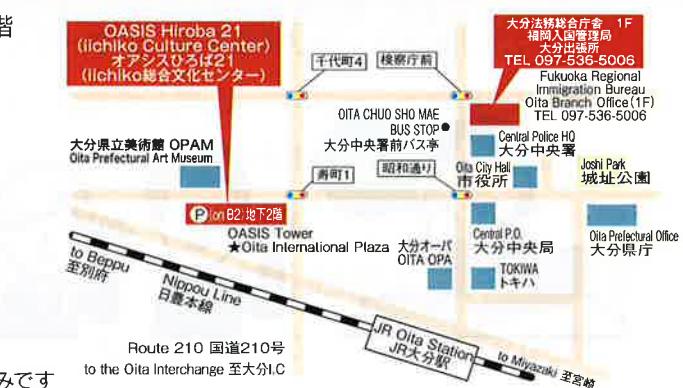


information

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階
TEL 097-529-7119 (相談センター)
TEL 097-533-4021 (国際交流プラザ)
FAX 097-533-4052 (相談センター・国際交流プラザ)
URL: <http://www.oitaplaza.jp/> (相談センター・国際交流プラザ)
E-mail: oisc@emo.or.jp (相談センター)
E-mail: in@emo.or.jp (国際交流プラザ)

時間 月～土 (相談センター・国際交流プラザ)
10:00～17:00 (相談センター)
9:30～18:00 (国際交流プラザ)

※毎曜、祝日、iichiko総合文化センター休館日および年末年始はお休みです



令和2年度第1回「大分県外国人材の受け入れ・共生のための対応策協議会」開催

7月30日（木）、県庁舎で『大分県外国人材の受け入れ・共生のための対応策協議会』が開催されました。この協議会は平成30年末に県と市町村で設置したもので、県の商工労働部長をトップに県の関係課長、市町村の商工等関係部課長で構成されています。会議では、まず福岡出入国在留管理局・大分出張所から、特定技能制度の運用状況と新型コロナウィルス感染症対策に係る在留管理手続きの関連情報が説明されました。続いて、大分県技能実習生受入監理団体協議会（事務局：大分県中小企業団体中央会）から県内監理団体の実態調査結果の報告がありました。後半の取組事項では、県国際政策課から「大分県外国人総合相談センター」の相談実績、県・市町村・労働局から今年度の取組予定の報告がありました。（以下新規項目を中心に概要掲載）

〈県〉

- ①外国人介護人材確保の対策…受入団体・施設に研修等支援、福祉資格養成校生に奨学金の貸付
- ②外国人実習生監理団体の支援…送り出し機関に関する実態調査の実施
- ③林業分野での受け入れ環境整備…技能実習生制度に結びつく組織に設立参加
- ④共生社会実現の環境整備…地域日本語学習支援のための人材養成事業の実施
- ⑤医療分野の外国人対応…ウェブサイト「おおいた医療情報ほっとネット」で多言語提供
- ⑥災害時の外国人対応…外国人向け情報発信ツールの運用、外国人防災セミナーの実施
- ⑦住宅等の確保支援…居住支援法人の設立促進、入居・居住ガイドブックの作成
- ⑧外国籍児童・生徒の受け入れ支援…日本語指導者養成研修の実施
- ⑨社会教育での支援…県立図書館事業で「やさしい日本語」の普及

〈市町村〉

- ①暮らしやすい地域づくり…多文化共生方針の策定・多文化共生担当係の新設・多国籍の職員採用
- ②生活サービス環境の改善等…外国人向けミニ集会の開催、受付時に窓口で多言語資料を配布
- ③円滑なコミュニケーションの実現…地域日本語教室・学習への支援、やさしい日本語の普及
- ④外国人材の受け入れ促進…監理団体・特定技能支援機関の設立促進、外国人労働者支援組織の構築

〈大分労働局〉

- ①技能実習生を対象とする新型コロナウィルス感染症対策に係る給付制度の実施

→詳細は大分労働局、県の雇用労働政策課又は各市町村の商工担当課にお問い合わせ下さい。



相談事例

① 専門家相談

Q 外国人です。給料の支払いが遅れがちで退職を考えている。契約書には雇用期間内は退職できない、違反すれば罰金が発生すると書いている。どうすればいいか？

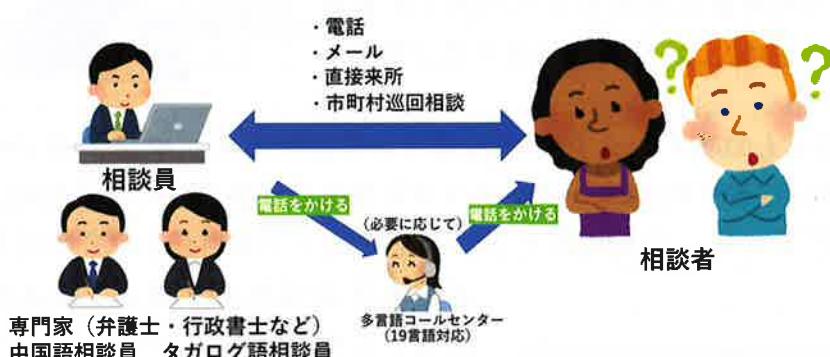
A あなたは有期雇用契約のため、原則、契約期間満了まで働くなければいけません。もしも、事業主に退職を拒否されるようなら、給料遅配についての書類を揃えて大分労働局に相談して下さい。

② 専門家相談

Q 夫（外国人）が新型コロナウィルスの影響で解雇された。仕事を紹介して欲しい。

A 大分県外国人総合相談センターは仕事の紹介をしていません。ハローワークに相談して下さい。大分県や相談センターのHPに新型コロナウィルス感染拡大に伴う個人向け支援に関する情報が載っていますので、ご確認ください。

相談センター利用イメージ



大分県に住む外国人・関係者の皆様へ

知りたいことや困ったことがあれば、お気軽にご利用ください。

利用方法は、HP・SNS等をご覧ください。

HP

Facebook

Twitter



専門家相談　中国語相談　タガログ語相談

※相談員の都合でお休みになることがあります。

※詳細はHPでご確認ください。

▶専門家相談

- 日時 毎週土曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
- 相談員 外国人Life Support所属行政書士ほか ■費用 無料 ■申込 不要

専門家相談については予約は要しませんが、専門家により専門分野が異なることや通訳が必要な場合がありますので相談内容を予めセンターにお知らせください。

▶中国語相談

- 日時 毎週木曜日 10:00～13:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
- 相談員 おおいた国際交流プラザ 中国語相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

▶タガログ語相談

- 日時 每月第1土曜日、第3火曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
- 相談員 大分県フィリピン友好協会所属相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

大分信息

绘画——永久的友好桥梁

我来自中国武汉，现任NPO法人遊鳳国际文化交流协会理事，也担任大分华人华侨会事务局副局长，来大分已是多年。武汉市的第一个缔结友好城市的伙伴就是大分，双方有着四十多年的友好交流历史。

2014年以纪念大分和武汉友好城市的缔结，促进两地艺术文化交流为宗旨，第一届“大分武汉友好美展”在大分县立美术馆举办。

该展览得到了湖北省美术学院的大力支持。该院的教师、教授不仅积极参展，还亲自来到大分展会现场参加开幕式，同时也将大分的艺术文化信息和风土人情等信息带回了武汉，带回到学校，促进了该地区更多的美术专业的学者来到大分进行进一步的文化学术交流。

为了此展览能良好地持续性举办，特在大分县成立了NPO法人遊鳳国际文化交流协会。在大分和武汉两地市政府、院校及一些相关的社会人士的支持，协助下，大分武汉友好美展已成功地举办了六年，2018年举办的第五届友好美展的参观人数达到2千人，湖北美术学院的周益民教授并在现场做了水墨画交流活动。该展览在武汉也有了非常高的知名度，让广大的武汉市民了解了大分，让更多的人关心并参与到展会中。

在大分武汉友好美术展中延伸出的「子どもの夢」—大分武汉友好中小学生作品展，更是促进了两市的中小学文化交流。此展也得到大分市中小学学校的支持，以及武汉市武昌区教育委员会的鼎力相助。

通过美术作品的交流，产生出新生的艺术文化，使两国间更多的普通市民有了共同分享中日两国不

同艺术作品的机会，增进了相互间的艺术交流和理解。

沈 露露（チン 口口）



◆ 主な受賞歴等

- 第46回 大分県日本画展 奨励賞
- 第47回 大分県日本画展 大分県日本画協会長賞
- 第73回 日本美术院春の院展 入選
- 第74回 日本美术院春の院展 入選

中国貴州少数民族传统藍染技法的保护活动。

- 2011年 浄慶寺(大分市)本堂の壁画「蓮池」制作
- 2013年 浄慶寺の本堂上面の壁画「日月風雲」制作、完成
- 2014年「照我帰」光明寺に奉納する
- 2014年 JAPAN竹田国际墨彩画展 策划
- 2014年 第16回大分県民芸術文化祭のジャンル別行事
大分武漢友好美術展をプロデュース
- 2017年 裸絵「早春譜」浄慶寺に奉納する
- 2018年 第33回大分県国民文化祭事業
大分武漢友好美術展 策划

【略歴】

武汉市出生
武汉纺织大学 染织美术专业 毕业
日本大分省立艺术文化短期大学 毕业
現在
日本美术院 研究会员
N P O 法人 遊鳳国际文化交流协会 理事
大分華僑華人会 副事務局長



汉语咨询

欢迎您来大分国际交流广场

您想了解如何来排解来在日生活中发生的各种困扰吗？您想咨询大分县人土风情文化和独特的美食吗？那就来大分国际交流广场吧！

这里有可以用母语的工作人员等候您的来访。愿为您的生活排忧解难，愿为您提供多文化共生环境的国际交流，愿为您的生活增添一份愉悦和欣喜。

时间：每周四10:00---13:00

场所：大分国际交流广场

IICHIKO综合文化中心 地下一层

费用：免费

TEL:097-533-4021

网上咨询 :oisc@emo.or.jp

自由参加





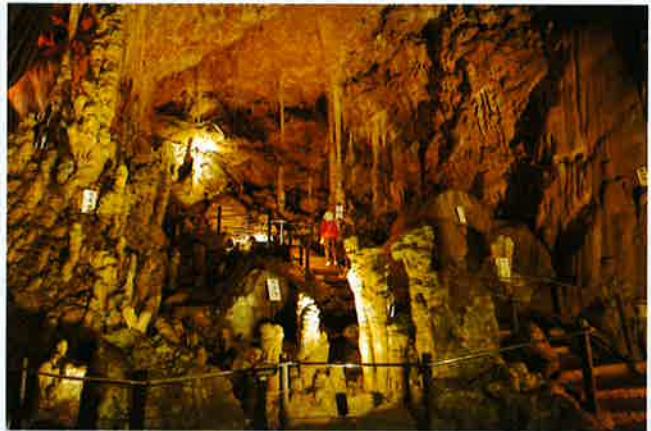
THE TOMBO



Exploring Earth's Wonders

Furen Limestone Cave

On the southern side of Oita prefecture sits a series of limestone mountains and a limestone stratum called the 'Chichibu paleozoic strata' that stretches from the coastlines to the inland. Since the calcite inside of limestone is easily dissolved by rainwater, the southern region is littered with caves, with the Onagara and Kariu caves lying in Saiki, the Inazumi Underwater Cave in Bungo-ono, and the Furen Stalactite Cave in Usuki.



Among them, the Furen Limestone Cave is considered the most beautiful cave in Japan. Measuring at a depth of 500m, the Furen Limestone Cave has only one opening. The enclosed formation shelters the limestone from the effects of weathering caused by outside airflow, thus preserving their shapes and beautiful white lustre.

The Furen Limestone Cave was discovered in 1926, and was designated a Natural Monument of Japan shortly after. Upon entering the cave and walking up and down its gentle slopes, you will see various rock formations whimsically named after their unique shapes. Some of these include the 'Zuiun no Taki (Falls of Auspicious Clouds)', 'Tenjokaku (Heavenly Cabinet)', and the 'Sennin no Niwa (Garden of the Hermit)'. As rainwater falls onto the ground, it picks up carbon dioxide gas from the air and soil, turning mildly acidic through the creation of carbonic acid. The water then seeps through the underground limestone's cracks and crevices, dissolving the mineral calcite inside of the rocks. When the water containing dissolved rock is re-exposed to air, it releases carbon dioxide gas much like a popped can of soda, redepositing calcite onto the cave walls, ceilings and floor. Stalactites hanging from the ceiling are formed by redeposited minerals from countless water droplets, and if the water droplets dripping onto the floor still carries dissolved calcites, they can build up stalagmites that grow upwards. Aside from stalactites and stalagmites, the cave also houses helictites, which are rare formations that grow laterally, sometimes twisting on their growth axis as if being squeezed out from the rock surfaces.

Perhaps the most impressive space inside of the cave is the 'Ryugujo (Dragon Palace)', a spacious chamber that expands at the back of the cavern glowing white and gold in the dim lights. In the middle of the chamber stands the cave's largest formation, a stalagmite named 'Kyoshuho'. Stalagmite formation is a time-consuming process, and it is estimated that it takes around 130~160 years for these rocks to gain 1cm³ in volume; measuring at 10m in height and 16m in circumference, the Kyoshuho probably took 1 million years to reach its current state. Standing inside the cave, one cannot help but marvel at the fascinating things that occur below the outer surface of Earth.

The Furen Limestone Cave is around a 50-minute drive from Oita City, and takes around 30 minutes to explore.

Access:

1632 Notsumachi Oaza Tomari, Usuki, Oita 875-0351
TEL 0974-32-2547
<http://www.furen-shonyudo.com/>

Festivals and Events

県内イベント案内

※掲載のイベントは、予告なく中止・変更になる場合があります。

2020コレクション展Ⅳ「新しき美の仲間たち」

開催期間／10月2日(金)～12月1日(火) 休展日：11月4日(水)
場 所／大分県立美術館 3階 コレクション展示室
料 金／一般300(250)円 大学生・高校生200(150)円
※()内は有料入場20名以上の団体料金
※大分県芸術文化友の会 びび KOTOBUKI 無料、
TAKASAGO 無料、UME 団体料金
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料
問い合わせ／大分県立美術館 Tel.097-533-4500
U R L／<http://www.opam.jp/exhibitions/detail/625>

大分県立美術館 開館5周年記念事業 生誕110年 宇治山哲平にみる「やまとごころ」

開催期間／10月30日(金)～11月29日(日)
場 所／大分県立美術館 3階 展示室B
料 金／一般800(600)円 大学生・高校生500(300)円
※()内は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金
※大分県芸術文化友の会 びび KOTOBUKI 無料(同伴
者1名半額)、TAKASAGO 無料、UME 団体料金
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料
問い合わせ／大分県立美術館 Tel.097-533-4500
U R L／<http://www.opam.jp/exhibitions/detail/621>
本展の会期中に限り、本展の半券提示でコレクション展を無料でご覧いただけます。

iichiko presents ベートーヴェン 弦楽四重奏曲全曲演奏会【第6幕】

日 時／11月12日(木) 開場18:00 開演19:00 終演予定21:00
場 所／iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホール
出 演／ウェールズ弦楽四重奏団
料 金／〈全席指定〉一般 3,000円
U25割(25歳以下)1,500円 ※未就学児入場不可
問い合わせ／iichiko総合文化センター Tel.097-533-4004
U R L／<http://www.emu.or.jp/notice/20200928verus/>

OPAM開館5周年記念 ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

日 時／12月7日(月) 開場18:15 開演19:00 終演予定21:00
場 所／iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ
料 金／〈全席指定〉GS席10,000円 S席8,000円
A席6,000円 B席4,000円 C席2,000円
U25割(25歳以下)半額(B・C席のみ)※未就学児入場
不可
問い合わせ／iichiko総合文化センター Tel.097-533-4004
U R L／<http://www.emu.or.jp/notice/20201207deutschekammerphilharmoniebremen/>



大分県藝術文化友の会

DETA PREF ARTS & CULTURE MEMBERSHIP

メンバーモニター募集！



JICAデスク 大分からこんにちは！

7月15日(水)、おおいた国際交流プラザにて、JICA九州主催『一時帰国中・派遣前JICA海外協力隊員意見交換会 in大分』を開催しました。

世界的なコロナ禍の影響により、今年3月に急遽、全世界に派遣されていた2,073名の海外協力隊員の方々が、活動半ばで一時帰国を余儀なくされました。以降、任期満了扱いとなつた隊員数を除き、8月上旬までの間、国内で待機する一時帰国隊員は1,733名いました。大分県では9名の隊員が待機の状態になりました。

意見交換会当日は、4名の待機中隊員が参加しました。はじめに、JICA九州より、現在のJICAボランティア事業を取り巻く状況について重ねてご理解いただくため、説明を行いました。その後、各隊員から、国内での待機中の近況や活動状況等の報告、進路に関する質疑や相談などがあり、JICA青年海外協力隊進路相談役や大分県青年海外協力協会理事も交えて、互いに情報共有・意見交換の場となりました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的拡大と新規感染者数の増加ペースに関して、とりわけ海外協力隊員の活動現場となる中南米やアフリカ諸国等の開発途上国では、猛威は勢いを増しています。隊員らは今もなお再赴任・派遣目途が

立たない中、気持ちの整理をつけることは決して容易ことではないと思いますが、この日参加された隊員の方々は、それぞれが今置かれた状況の中で出来ることに最大限に取り組みながら、前向きに先行きを見据えようとしている姿が印象的でした。

JICA九州やJICAデスク大分では、引き続き、日本国内で待機を継続する隊員に対して、国内での研修や活動等の機会を提供できるよう努めてまいります。一日も早く世界中での感染拡大が終息し、安心して過ごせる日々が戻りますように。



JICAデスク 大分

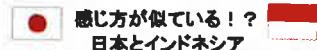
iichiko総合文化センター(B1F) おおいた国際交流プラザ内
担当：JICA九州・大分県国際協力推進員 井本
TEL: 097-533-4021 (おおいた国際交流プラザ直通)
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp



インドネシア語トライアル講座

「トライアル講座」は、おおいた国際交流プラザに登録しているボランティアさんが講師を務め、外国の言語や文化について知ることのできる講座です。今回ご紹介するのは「インドネシア語トライアル講座」です。講師は、大分県インドネシア友好協会に在籍し、当プラザの通訳ボランティアとしても活動している伊藤陸生（いとうむつお）さんです。伊藤さんは、30年ほどインドネシアで生活された経験を持ち、現在は縁あって大分で暮らしています。県内にお住まいのみなさんがインドネシアに興味を持ち、好きになってほしいという思いから実現しました。本講座は、インドネシアの国民性や習慣、インドネシア語の発音の特徴やバリ舞踊など、幅広く学ぶことができます。語学に自信のない方も、普段何気なく使っている単語が実はインドネシア語がルーツだったと知ることで小さな感動を覚えるかもしれません。どなたでも参加できるので、興味がある方はぜひ覗いてみて下さい♪

インドネシア語トライアル講座



「地域日本語学習支援の人材養成講座」を開催します

外国人労働者など県内に在住している外国人は増加の傾向にあり、日本語学習の必要性はますます多様化しています。おおいた国際交流プラザは、本年度、県から委託された「日本語教室・日本語ボランティア研修」事業を実施します。
①これまで地域で日本語教育に取り組んできた日本語教師・日本語ボランティアを対象とするスキルアップ編 ②日本語教育に関心がある、または外国人のサポートを希望する皆さんを対象とするビギナー編。以上を日本語教育の専門家を講師に迎え、それぞれ3回各2時間の6時間コースで実施します。今年度は、11月から2月にかけて県北地区と大分地区での開催を予定しています。詳細につきましては、おおいた国際交流プラザのホームページや地元市役所の広報でお知らせします。

お知らせ

新型コロナウィルス感染症対策に関する取り組みについて

おおいた国際交流プラザ・大分県外国人総合相談センターでは、以下の取り組みを実施しています

- アルコール消毒液を設置しています
- 相談室に空気清浄機を設置しています
- 相談室に飛沫防止用パーテーションを設置しています
- 相談室・交流スペース利用後の消毒を行っています

ご来館の際は以下の点に留意していただきますようお願いいたします

- ①身体的距離の確保
- ②マスクの着用
- ③手洗い・アルコール消毒液の利用

おおいた国際交流プラザからのお知らせ

●Free Talk Class

Free Talk Classは、大分県所属の国際交流員と交流する企画です
オーストラリア、中国、韓国出身のネイティブと交流してみませんか。(各週で1言語)

日 時 金曜日 13:30~15:00

定 員 各10名

場 所 iichiko総合文化センター 地下1階 おおいた国際交流プラザ

参加費 無料 ※詳細はHPをご覧ください。

●チャレンジ☆韓国語

「韓国語トライアル講座」が「チャレンジ☆韓国語」に生まれ変わりました。

韓国語を使いたいけれど機会がない…と感じている方。

覚えた単語や文章を実際に韓国語ネイティブとの会話の中で使ってみませんか。

皆さんのご参加をお待ちしています。

日時 第3土曜日 10:30~12:00 ※変更の可能性あり

定員 10名

場所 iichiko総合文化センター 地下1階 おおいた国際交流プラザ

参加料 無料 ※詳細はHPをご覧ください。

●インドネシア語トライアル講座

「インドネシア語を通して、インドネシアに興味を持つてほしい」という想いから実現した本講座は、約30年インドネシアで生活した経験のある講師によって開催されます。インドネシアの魅力に触れる絶好のチャンスです。是非ご参加ください。

※詳細はHPをご覧ください。

●通訳・翻訳ボランティア

国際交流プラザには、現在 英語・中国語・韓国語・フランス語・スペイン語・ドイツ語・イタリア語・ロシア語・タガログ語・ポルトガル語・ベンガル語・タミル語・タイ語 の通訳・翻訳ボランティアの方が登録しています。

語学力を活かして、在住外国人のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語の分からない方(主に外国籍住民)に日本語を教えるボランティアです。

登録希望者はおおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードし記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。

●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます(5か国語)
ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本での生活で知りたい情報を紹介しています。

●日本語教室情報

▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス (大分市)

日 時 毎週火・金 10:20~11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール (大分市)

日 時 毎週木 18:30~20:30

連絡先 097-532-5940 加藤

▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館 (大分市)

日 時 毎週月 10:15~12:00

連絡先 090-7163-4969 川野

▶ひまわり

①場 所 明治明野公民館 (大分市)

日 時 毎週水 14:00~15:30

連絡先 097-527-2614 深田

②場 所 鶴崎公民館 (大分市)

日 時 毎週土 10:00~11:30

連絡先 097-527-2614 深田

▶日本語楽々トーク！

場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00~15:30

連絡先 0977-21-1131 大塚

▶ビービズリンク BIP事業部

場 所 ビービズリンク BIP事業部(別府市APU PLAZA 1F)

日 時 毎週火・水 11:30~12:10 (初級)

12:30~13:10 (中級) ※水は接客日本語

連絡先 0977-23-1119 神(こう)